

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

南知多町の「回天・震洋特攻基地跡」にプレートでの説明表示を

知多半島の戦争遺跡をめぐる

7月20日に、「半田空襲を記録する会」主催の知多半島の半田以南の戦争遺跡をめぐるフィールドワークがありました。内田議員が6月議会の一般質問で、保存を要望した回天・震洋格納壕跡や中之院等も廻りました。過去の侵略戦争を美化し、加害の戦争責任を曖昧にしよとする動きが強まっています。戦争遺跡から過去の、被害・加害・抵抗の歴史を学び直しましょう。



飛行機を入水させるスベリ跡(河和)

中島飛行機半田製作所 常滑生住院本堂弾痕跡

初めに、半田中島飛行機製作所跡を見学、県内だけでなく、四国、鹿児島等他府県から、67の男女中等学校(現中・高)から約1万人の生徒が集められました。銃打ち、ドリル、板金、旋盤などの身体労働であり、10時間労働で、休日は月2回、寮の食事は芋や雑穀中心の粗末でした。1944年の12月7日の東南海地震やその後の1945年の工場の空襲被害で、今分かっているだけで、123人の学徒の犠牲が出ています。

中島飛行機の滑走路跡・エプロン跡(駐機場)・赤煉瓦建物の弾痕跡 雁宿公園半田空襲記念碑、河和海軍航空隊の給水塔の



海軍航空隊隊門跡(河和中)

第1・2海軍航空隊跡地には美浜町教育委員会のプレート表示

美浜町には、第1・第2海軍航空基地がおかれていました。第2海軍航空基地は、当時の浦戸地区・古布地区の住民を強制移転させ、有無を言わずに広大な土地の確保をしました。河和交差点からの海軍道路の建設等、朝鮮人を利用した軍部の力による戦争遂行への基地づくりの跡が、今でも田んぼの中に残っています。

基礎跡・隊門跡(河和中)等、南知多町では特攻兵器の回天・震洋遺跡、岩屋の中之院軍人像、常滑の生住院本堂の弾痕跡を訪れました。生住院では住職から直接話を聞きました。本堂のケヤキ柱には、はつきりと弾痕跡があり、弾痕記録板が備え付けてありました。



美浜町河和中学校の敷地内に給水塔基礎残存

河和中学校内の自転車置き場には巨大な円計上の建物がありました。旧海軍施設の水の配水を担当した給水塔の基礎部分が壊されままだまま残っています。この給水塔を利用して海軍基地が想像されます。



旧海軍の給水施設跡(河和中)

現河和中の正門前には、この地が過去の第2海軍航空隊基地の門であったことがプレートで示されていました。また、現スパー「フィール」の裏海岸堤防付近に、海上飛行機を海まですべらせて入水させた、斜度4度というスベリという建設物が残っており、それを示すプレート表示がここにもありました。



フイン場・浴場跡の基礎も残るあせ道

元河和南部小学校付近の河和海軍第1航空隊の跡地は様々な戦争遺跡が残っています。田のあせ道には、当時のフイン保管場や、浴場跡の基礎も残っています。

(川柳コーナー)

人生を壊され恨み極限に
莫大な献金に家族も人生も壊され、旧統一教会への恨みは極まり、安倍氏銃撃事件に、旧統一教会への献金相談は、昨年度もまた全国で、徳田にも上っている。こんな反社会的な団体と癒着している議員は、当然辞めるべきです。

美浜町のように戦争遺跡にプレートでの説明表示を

おり、航空隊が空襲に備えた地下指揮壕も存在していました。地下壕のある土地は、美浜町が戦後払い下げでその部分だけを切り取って買収しました。こんもりとした山になっており、周りには柵がはられていました。

知多の遺跡めぐりから、美浜町、半田市、常滑市は戦争を伝えるために私的・公的に遺跡の説明表示をしていることが分かりました。南知多町の「震洋」格納壕跡は、草が生い茂り、分からないような場所となっています。

内田議員が一般質問で要望したように、特攻兵器「震洋」の格納壕跡の保存と、子どもたちに歴史を語り伝えるために、町としてのプレートでの説明表示板の設置が強く望まれます。

プレート表示は、多少お金がかかりますが、決断すればすべできます。実行してほしいものです。



「震洋」跡地(片名2016年当時)